

水路部技報の刊行に当たって

海上保安庁水路部長 杉浦 邦朗

水路部では、これまで水路測量、海象観測、天文観測、海図の刊行などの業務の一環として、各種の調査研究や技術開発を行ってきた。すでにその成果の多くが実用化され、業務に生かされていると共に、いくつかの成果は水路部研究報告などにも紹介されている。

本技報は、それら水路部の行う調査研究や技術開発の最新の成果を、可能な限り収録し紹介するものである。

ところで、最近の我々を取巻く環境を見ると、海洋法条約採択などの新海洋秩序形成、引続き進捗著しい港湾整備など、早急適切な対応が必要な情勢が見られると共に、関連技術についても、電子機器をはじめ多方面で急速な進歩が見られる。

水路業務に関しても、このような環境変化に対応して、新しい研究開発成果をとり入れ、効率化と技術水準の向上をはかり、国民へのサービス向上に真剣に取り組んでいかなければならない。

本技報が、水路業務従事者並びに関連分野の方々に、最新の技術情報、あるいは異なった分野の間の技術の掛橋として利用され、水路技術の向上に資することを願う。